

平成29年3月期  
決算説明会資料

平成29年6月5日



(東証二部 9857)

企業概要	・・・	P.3
平成29年3月期 連結決算概要	・・・	P.7
平成30年3月期 連結計画	・・・	P.18
中期3ヵ年経営計画	・・・	P.21
営業施策 注力商品	・・・	P.28
参考資料	・・・	P.33

# 企業概要

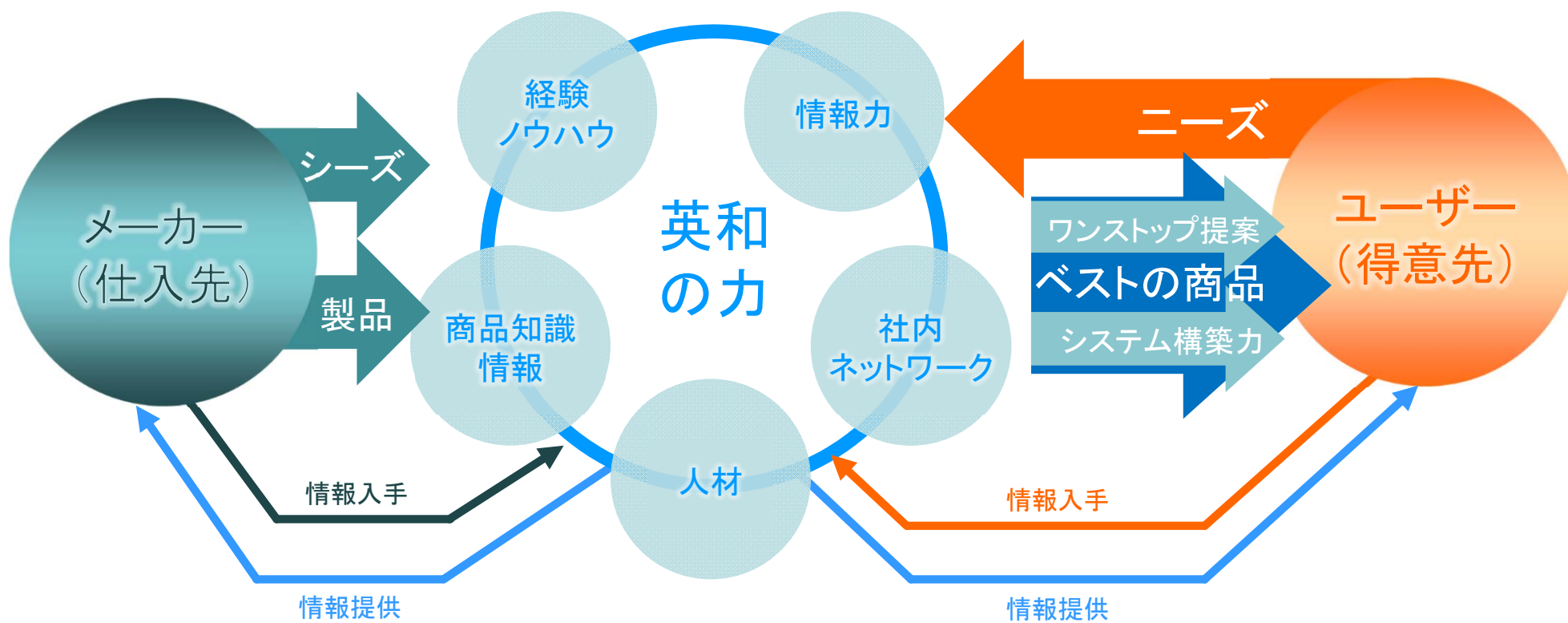
## 企業概要(平成29年3月31日現在)

商号	英和株式会社(EIWA CORPORATION)
創業	昭和22年6月15日
代表取締役社長	阿部 健治
本社所在地	大阪府大阪市西区北堀江四丁目1番7号 東京都品川区西五反田一丁目31番1号(日本生命五反田ビル10階)
資本金	15億3340万円
連結従業員	315名
上場市場	東京証券取引所 市場第二部(証券コード:9857)
国内営業拠点	35カ所
連結子会社	3社:双葉テック(株)、東武機器(株)、 英和双合儀器商貿(上海)有限公司
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械の販売</li> <li>◆以上の物の輸出入代理業務、仲立業、賃貸業、古物売買業</li> <li>◆上記製品にかかわる施工、修理業務</li> </ul>

あらゆる業界に、4分野の商品を幅広く展開



- ◆“はかる”ことであらゆる産業に貢献する技術総合商社
- ◆独立系商社ゆえ系列の枠を超えた自由な商品提案が可能
- ◆ユーザーニーズを理解し、常に最適なあらゆるシステム・商品・サービスをワンストップで提供



# 平成29年3月期 連結決算概要

(単位: 百万円)	平成28年3月期	平成29年3月期	増減額	前年同期比	平成29年3月期 (通期計画)	計画比
売上高	32,510	32,886	+ 375	+ 1.2%	34,000	96.7%
営業利益	900	995	+ 95	+ 10.6%	1,030	96.7%
経常利益	909	1,051	+ 142	+ 15.6%	1,030	102.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	520	683	+ 163	+ 31.4%	660	103.6%

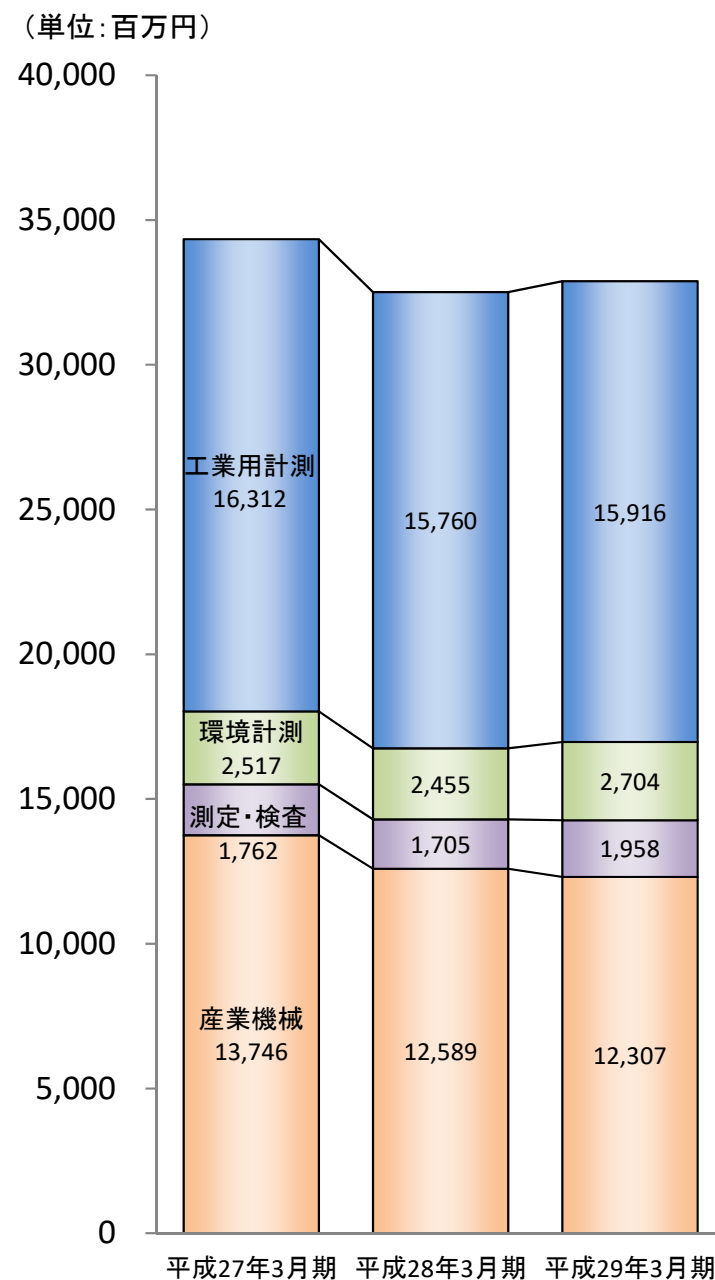
## 決算の概況

- 舶用機器製造業向けでディーゼルエンジンの生産台数が減少した影響を受け、売上が伸び悩んだものの、化学品製造業、プラント・エンジニアリング向けに石油化学コンビナートの定期修理需要を主体とした工業用計測制御機器や環境計測・分析機器の販売は好調を維持しました。また、付加価値営業に取り組んだ結果、利益率も改善し、前年同期比増収増益となりました。



# 品目別売上高推移

(単位:百万円)	平成27年 3月期	平成28年 3月期	平成29年 3月期	前年同期比	構成比
工業用計測 制御機器	16,312	15,760	15,916	+ 1.0%	48.4%
環境計測・ 分析機器	2,517	2,455	2,704	+ 10.1%	8.2%
測定・ 検査機器	1,762	1,705	1,958	+ 14.9%	6.0%
産業機械	13,746	12,589	12,307	△ 2.2%	37.4%
合計	34,338	32,510	32,886	+ 1.2%	100.0%



## 工業用計測制御機器

産業技術の基本となる計測制御技術を  
安全性・信頼性で支える。

- ◆工業用センサー
- ◆制御機器
- ◆受信機器
- ◆情報通信・変換機器

### 取扱い商品一例

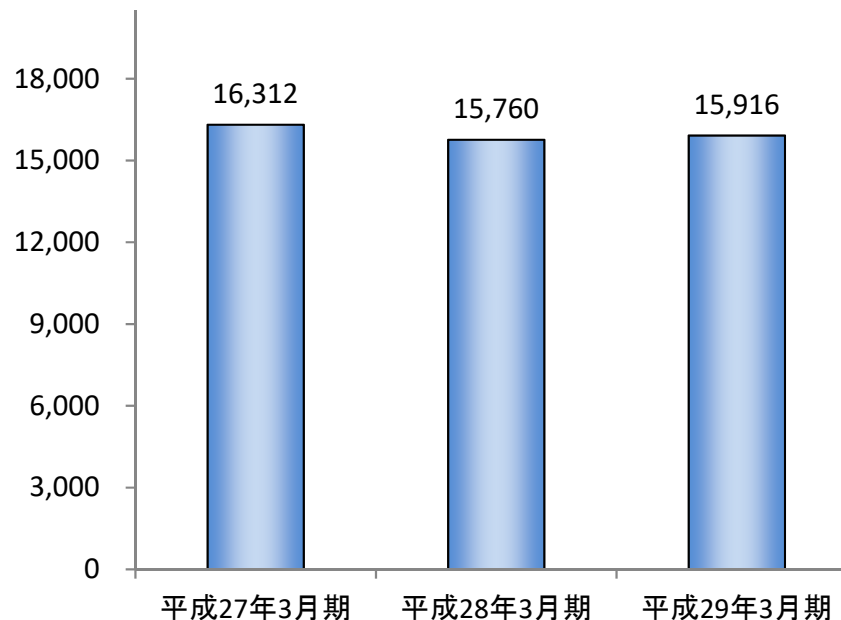


電波レベル計



記録計

(単位:百万円)



### <平成29年3月期 売上高>

159億16百万円(前年同期比1.0%増)

船用機器製造業向けについては、造船需要減によりディーゼルエンジンの生産台数が減少した影響を受け販売が伸び悩みましたが、プラント・エンジニアリング向けに石油化学コンビナートにおける大型定期修理やプラント建設案件に伴う各種センサーの需要が増加しました。

## 環境計測・分析機器

『事業活動を通じ地球環境保全に貢献し社会的責任を果たす』を重点テーマにユーザーの環境改善対策に貢献。

- ◆水質・ガス・大気分析機器
- ◆気象観測機器
- ◆振動・騒音・臭気測定機器

### 取扱い商品一例

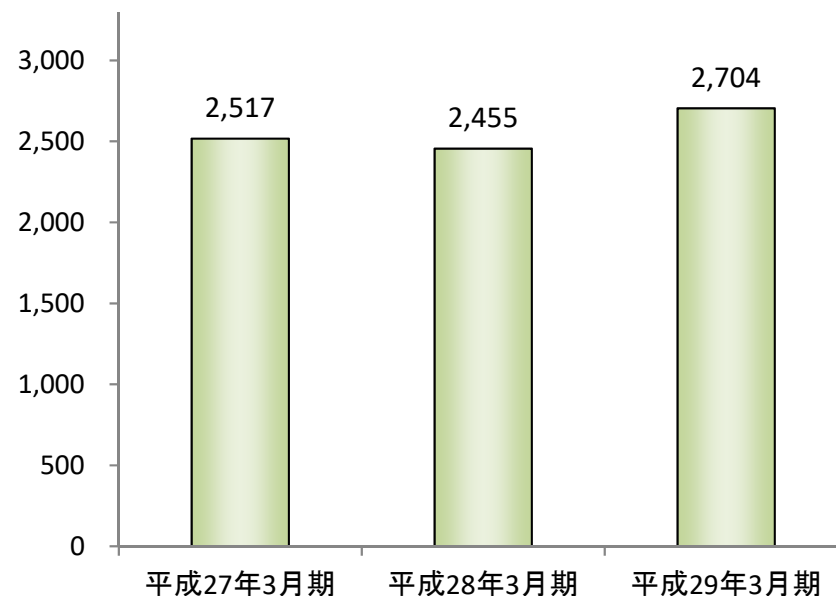


複合ガス検知器



地震計

(単位:百万円)



＜平成29年3月期 売上高＞  
27億4百万円(前年同期比10.1%増)

化学品製造業向けに大型定期修理に伴う水質・大気・ガス分析計の設備更新が堅調に推移しました。

## 測定・検査機器

研究開発や製品の検査を確かな品質でサポート。

- ◆ 形状検査・試験機器
- ◆ 非破壊検査・試験機器
- ◆ 材料検査・試験機器
- ◆ 電力監視機器・システム

### 取扱い商品一例

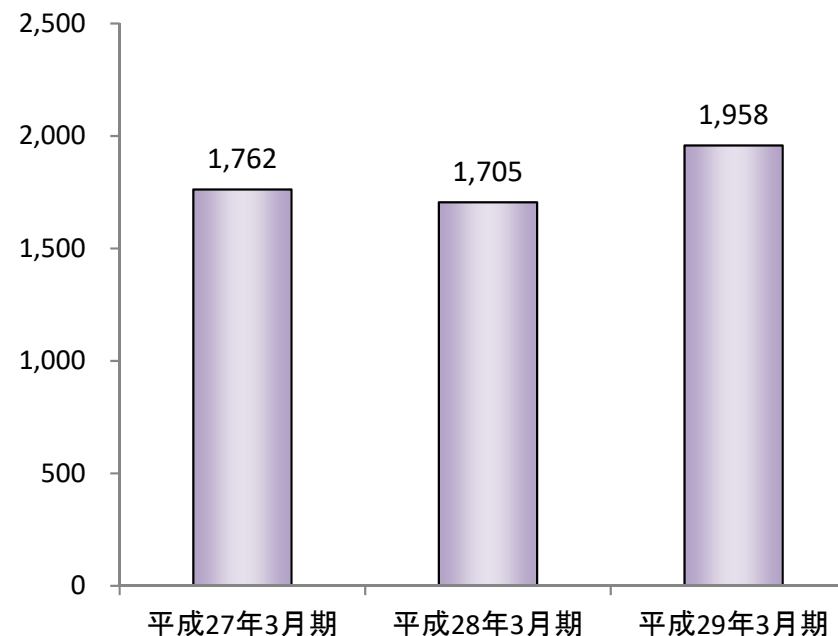


工業用内視鏡



輪郭形状測定器

(単位:百万円)



＜平成29年3月期 売上高＞  
19億58百万円(前年同期比14.9%増)

電気機器製造業やフィルム製造業において生産設備用検査機器の販売が伸長しました。

## 産業機械

あらゆる生産設備・社会資本設備で活用される産業機械のソリューションを提供。

- ◆油・空圧機器
- ◆ポンプ・バルブ機器
- ◆道路維持機械
- ◆エネルギー関連設備
- ◆各種装置

### 取扱い商品一例

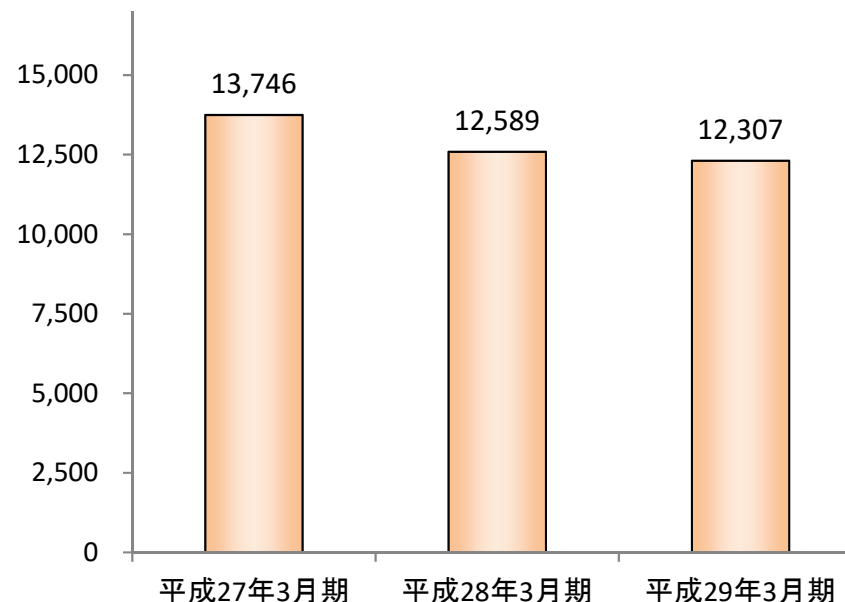


ポンプ



路面清掃車

(単位:百万円)



<平成29年3月期 売上高>

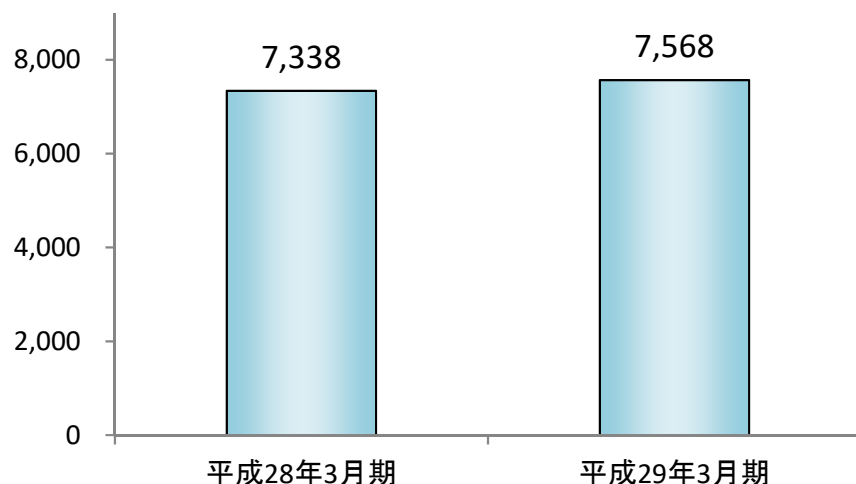
123億7百万円(前年同期比2.2%減)

前年同期に比べメガソーラー関連付帯機器の販売が半減しました。これに対し官公庁向け特殊車両の販売、自動車部品製造業向けに刻印機の輸入販売が伸長しましたが、産業機械全体では減少しました。

「環境・安心・安全・品質」をキーワードとした環境配慮型機器及び保安・メンテナンス機器の拡販

## 環境配慮型機器

(単位:百万円)

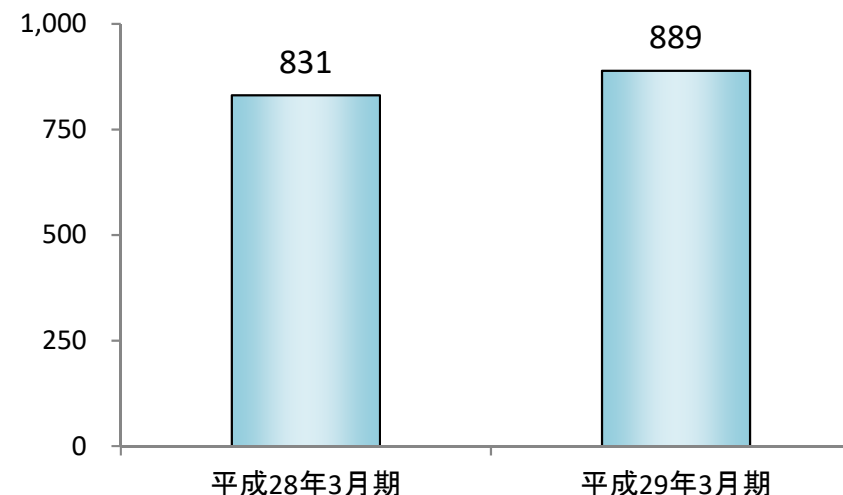


＜平成29年3月期 売上高＞  
75億68百万円(前年同期比3.1%増)

(注) 売上高は、当社設定の特定商品の実績です。  
水質、大気、排ガスの計測・分析機器、放射線量計、電力監視、破碎機、集塵システム、清掃洗浄装置、水処理装置、路面清掃車、床面洗浄機、オイル清浄度計測器、LED照明、オイル濾過・分離装置、エネルギー関連設備 等

## 保安・メンテナンス機器

(単位:百万円)

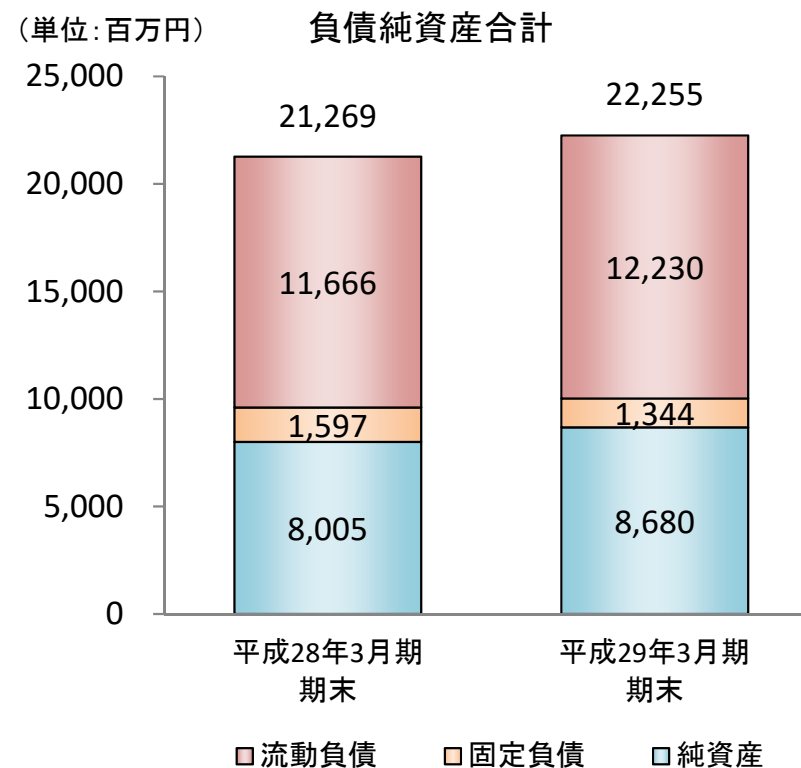
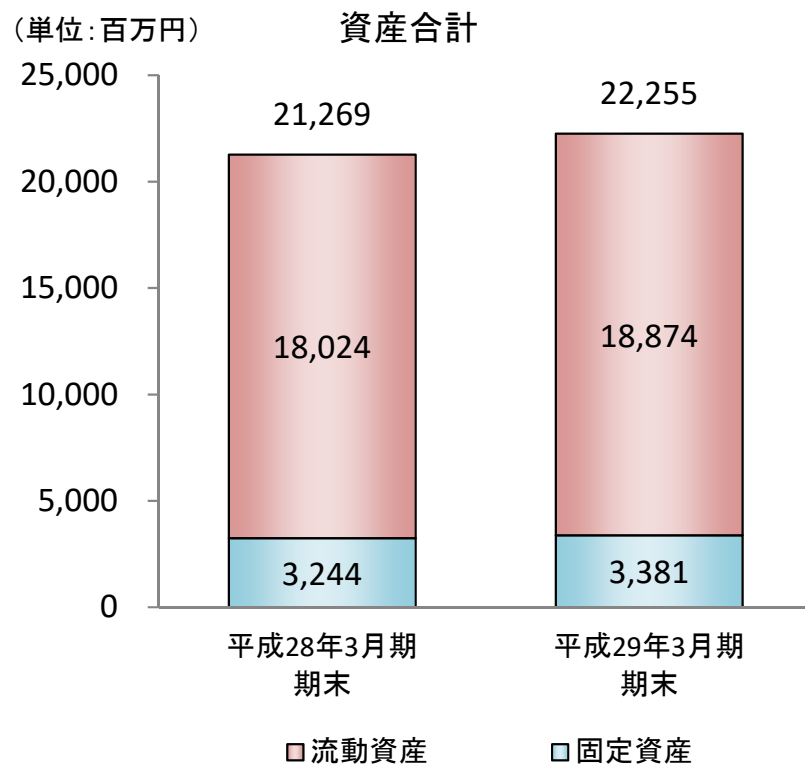


＜平成29年3月期 売上高＞  
8億89百万円(前年同期比7.0%増)

(注) 売上高は、当社設定の特定仕入先・商品の実績です。  
ガス検知器、振動計、騒音計、工業用ビデオスコープ、火災検知器、漏油検知器、ポータブル電気テスター、ポータブルガス分析機器 等  
※設備・機器の点検、校正業務等も含んでおります。

※品目別とは異なる分類方法により売上高を抜粋しております。

# バランスシート(連結)



## 平成29年3月期 ハイライト(カッコ内は前期比)

### 資産

#### 【増減の主な要因】

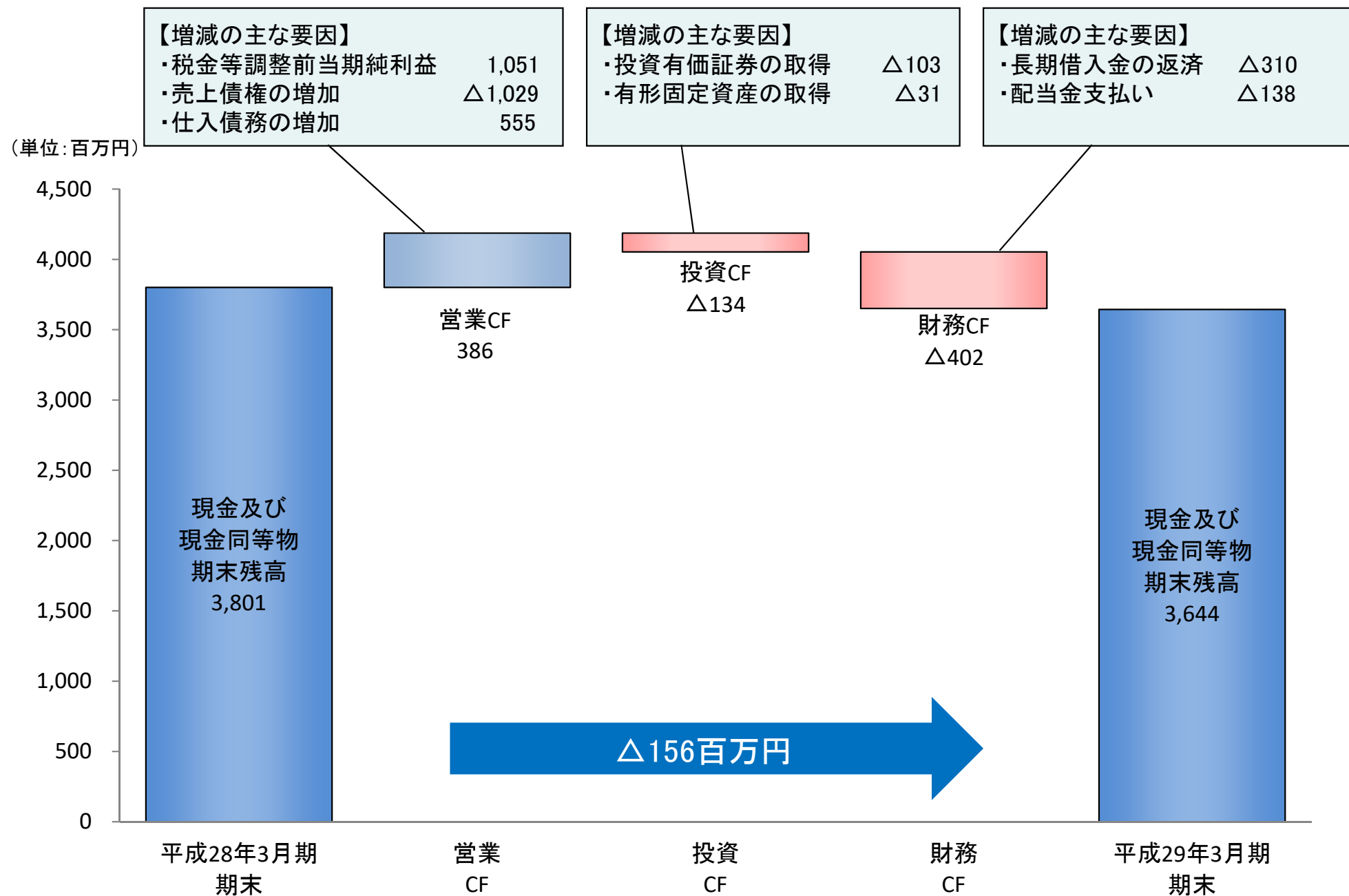
- ◆受取手形及び売掛金: 14,393(+1,024) 売上高増加

### 負債・純資産

#### 【増減の主な要因】

- ◆支払手形及び買掛金: 10,893(+549) 仕入高増加
- ◆純資産: 8,680(+675) 当期純利益による増加

平成29年3月期 自己資本比率: 39.0%





## 資産

	H28/03	H29/03	増減額
<b>流動資産</b>	<b>18,024</b>	<b>18,874</b>	849
現金・預金	3,820	3,653	△167
受取手形・売掛金	13,368	14,393	1,024
たな卸資産	593	510	△82
その他	242	317	74
<b>固定資産</b>	<b>3,244</b>	<b>3,381</b>	136
有形固定資産	1,458	1,455	△2
無形固定資産	125	88	△37
投資・その他の資産合計	1,660	1,837	176
その他	1,711	1,887	176
貸倒引当金	△50	△50	0
<b>資産合計</b>	<b>21,269</b>	<b>22,255</b>	986

## 負債及び純資産

(単位:百万円)

	H28/03	H29/03	増減額
<b>流動負債</b>	<b>11,666</b>	<b>12,230</b>	563
支払手形・買掛金	10,344	10,893	549
1年内返済予定の長期借入金	410	260	△150
引当金	421	431	10
その他	491	641	150
<b>固定負債</b>	<b>1,597</b>	<b>1,344</b>	△252
長期借入金	880	770	△110
引当金	183	196	12
退職給付に係る負債	454	354	△99
その他	78	23	△55
<b>負債合計</b>	<b>13,264</b>	<b>13,574</b>	310
<b>純資産</b>	<b>8,005</b>	<b>8,680</b>	675
株主資本	7,956	8,501	544
その他の包括利益累計額	48	179	130
その他有価証券評価差額金	44	114	70
為替換算調整勘定	16	11	△4
その他	△12	52	64
<b>負債・純資産合計</b>	<b>21,269</b>	<b>22,255</b>	986

■自己資本比率は1.4ポイント増加し、39.0%となりました。  
(H28/03時点37.6%)

# 平成30年3月期 連結計画

(単位:百万円)	平成29年3月期	平成30年3月期	増減額	前年同期比
売上高	32,886	34,200	+ 1,313	+ 4.0%
営業利益	995	980	△ 15	△ 1.6%
経常利益	1,051	1,020	△ 31	△ 3.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	683	663	△ 20	△ 3.0%
1株当たり当期純利益	108.04	104.75	△ 3.29	△ 3.0%

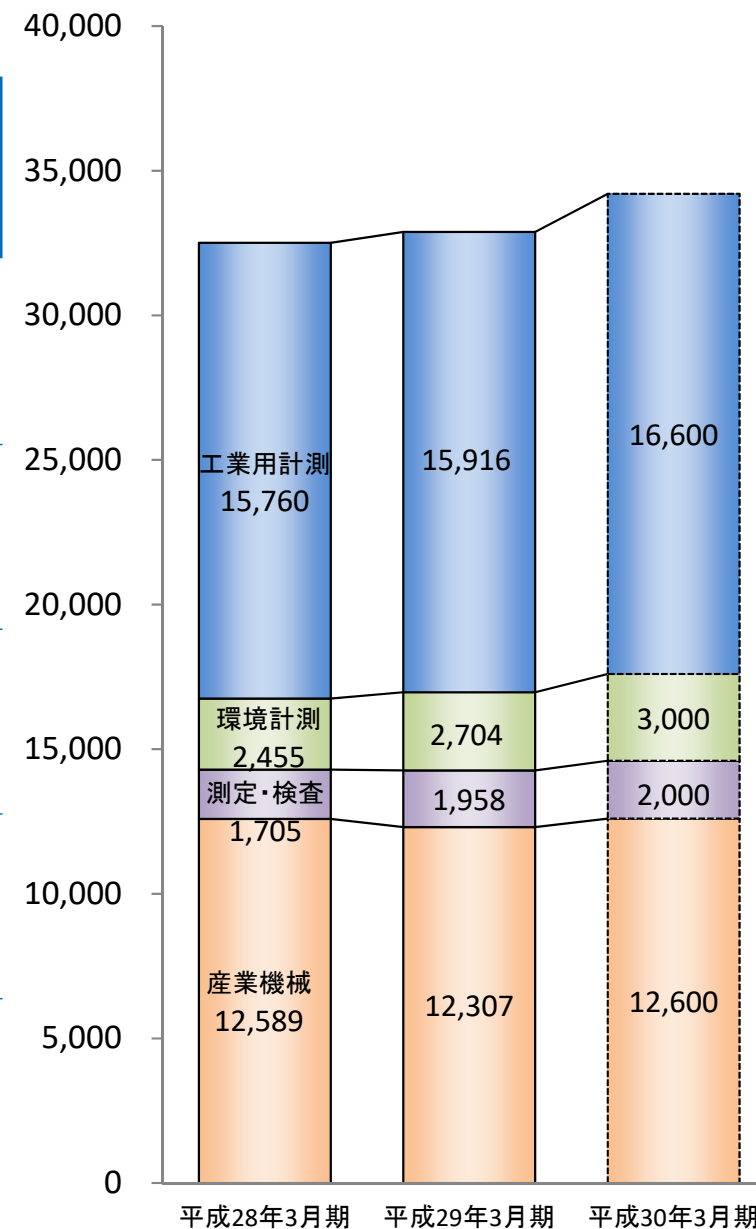
見通し

- 主要事業領域であります国内市場は、緩やかな回復基調にあり、公共インフラの再整備を中心とした内需の拡大と、少子高齢化にともなう生産性向上に向けた取り組みを足掛かりに、民間企業の設備投資意欲の改善が見込まれます。

# 品目別売上高見通し

(単位:百万円)	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年 3月期	前期比	構成比
工業用計測 制御機器	15,760	15,916	16,600	+ 4.3%	48.5%
環境計測・ 分析機器	2,455	2,704	3,000	+ 10.9%	8.8%
測定・ 検査機器	1,705	1,958	2,000	+ 2.1%	5.9%
産業機械	12,589	12,307	12,600	+ 2.4%	36.8%
合計	32,510	32,886	34,200	+ 4.0%	100.0%

(単位:百万円)



# 中期3カ年経営計画

## 事業環境

- 日本国内は少子高齢化の進行と労働力人口の減少等による経済の低成長が見込まれる
- プラント運転員の高齢化や、定年退職に伴う技術者及び技能保有者の不足
- 生き残りや永続的成長を目的として業界再編や設備の統廃合が加速
- アベノミクスによる社会インフラ関連投資の再構築が進行中
- 地球温暖化による世界規模での環境対策の高まり
- 特定地域の地政学リスクの高まりで、世界経済全体は先行き不透明
- 為替変動による製造業の生産拠点政策(生産計画)への影響

## 拡大を目指す分野

- 人協働型ロボット導入他、工場現場での生産性向上に向けた省人化投資
- IoTを活用した設備稼働の監視、解析、保全管理
- 老朽化した設備の効率化投資
- 次世代エネルギー関連施設・プラント(水素、燃料電池等)
- 社会インフラの再構築  
(防災対策、老朽化対策、オリンピック関連需要)
- 環境対策を目的とした各種法規への対応  
(排出ガス規制・水質・水銀環境汚染防止法等)
- 医薬品、化粧品製造業界への取組み強化(新規市場開拓)

■平成29年度中期3ヵ年経営計画は、経済環境と平成29年3月期業績を基にローリング方式にて新たに策定しました。

平成29年度  
経営方針

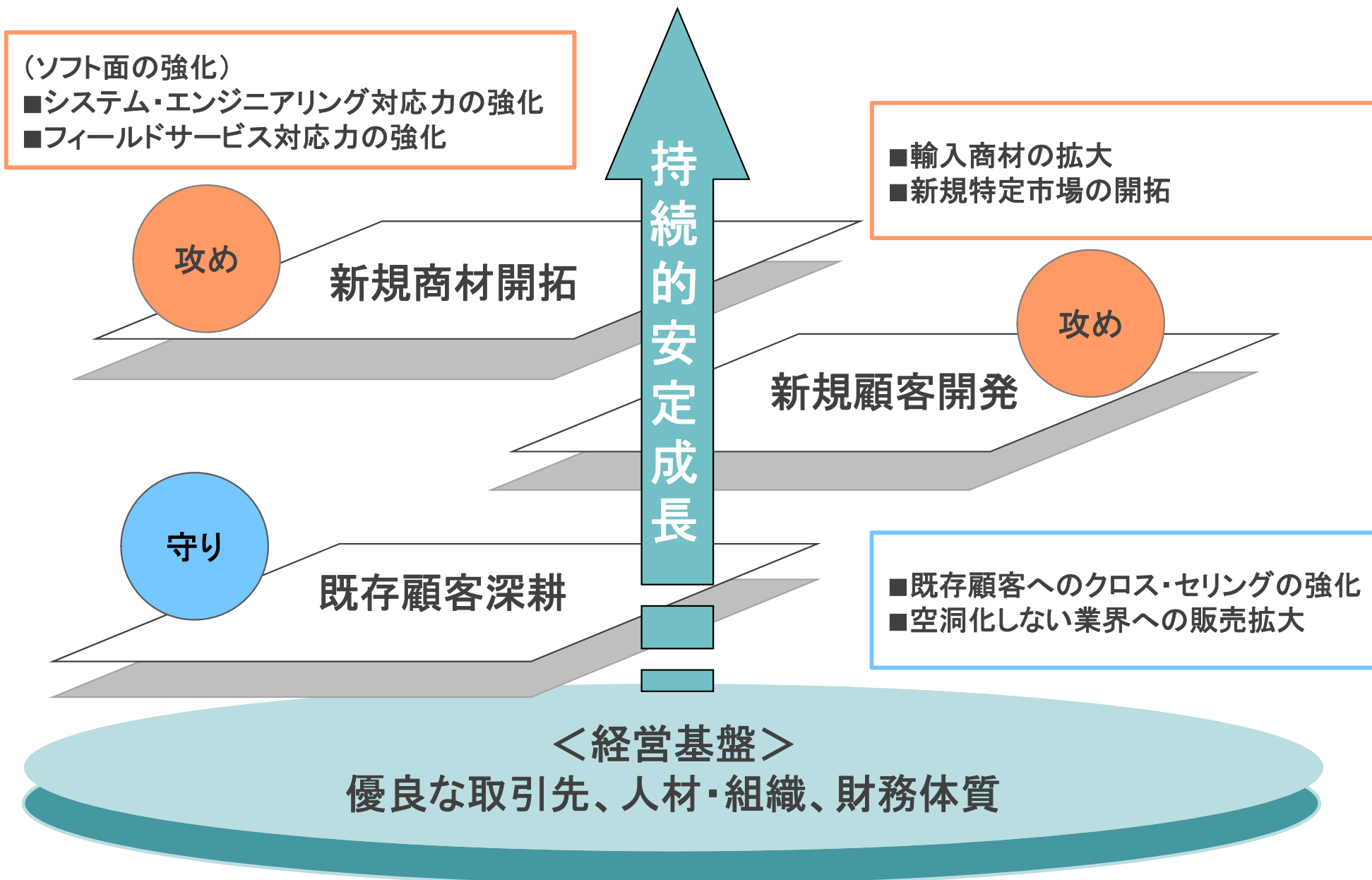
『現場力と収益力の強化』

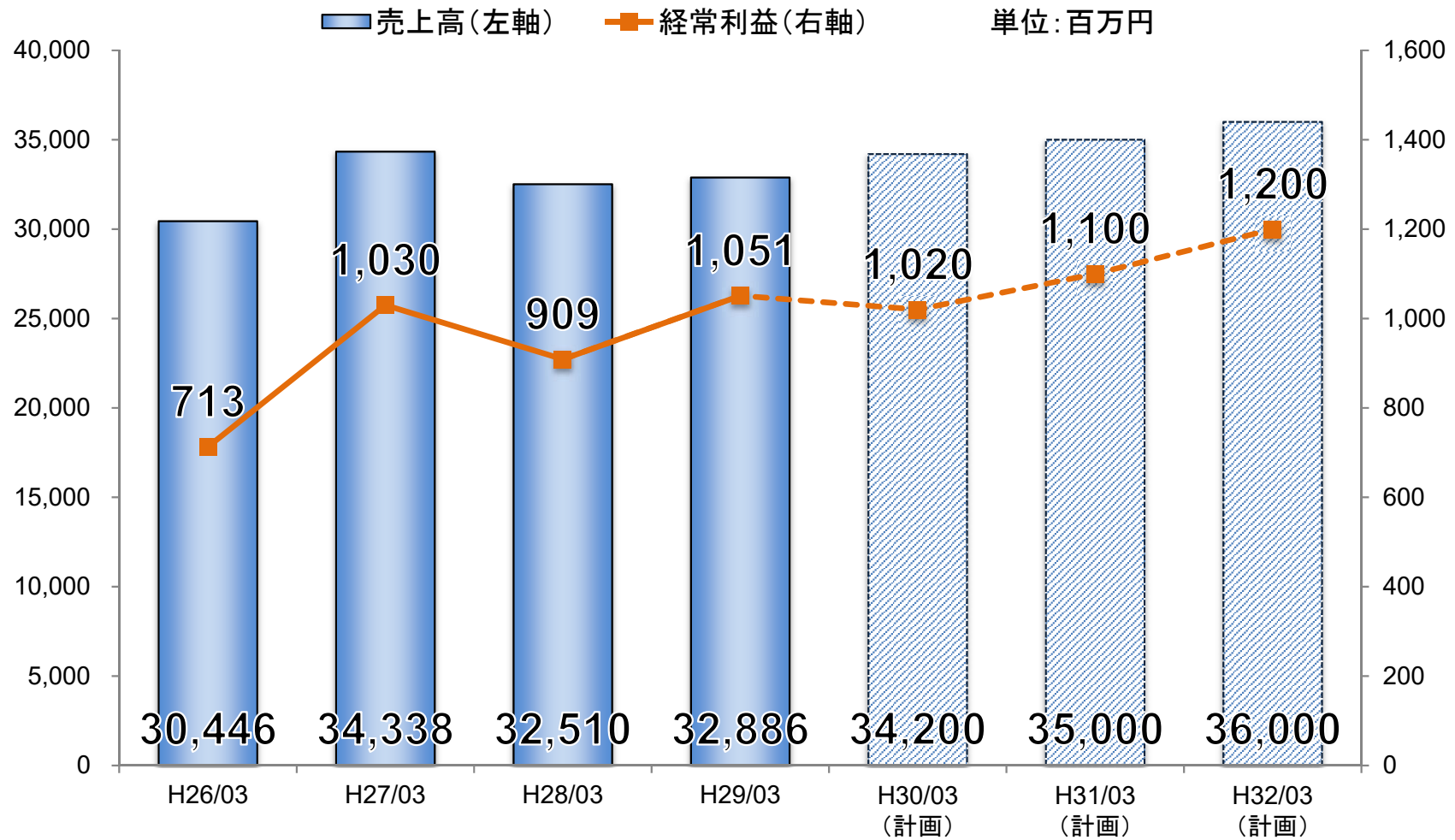
平成31年度  
売上高 360億円  
経常利益 12億円

平成29年度～平成31年度  
経営基本方針

『事業ポートフォリオの最適化と  
生産性追求による収益力の強化』





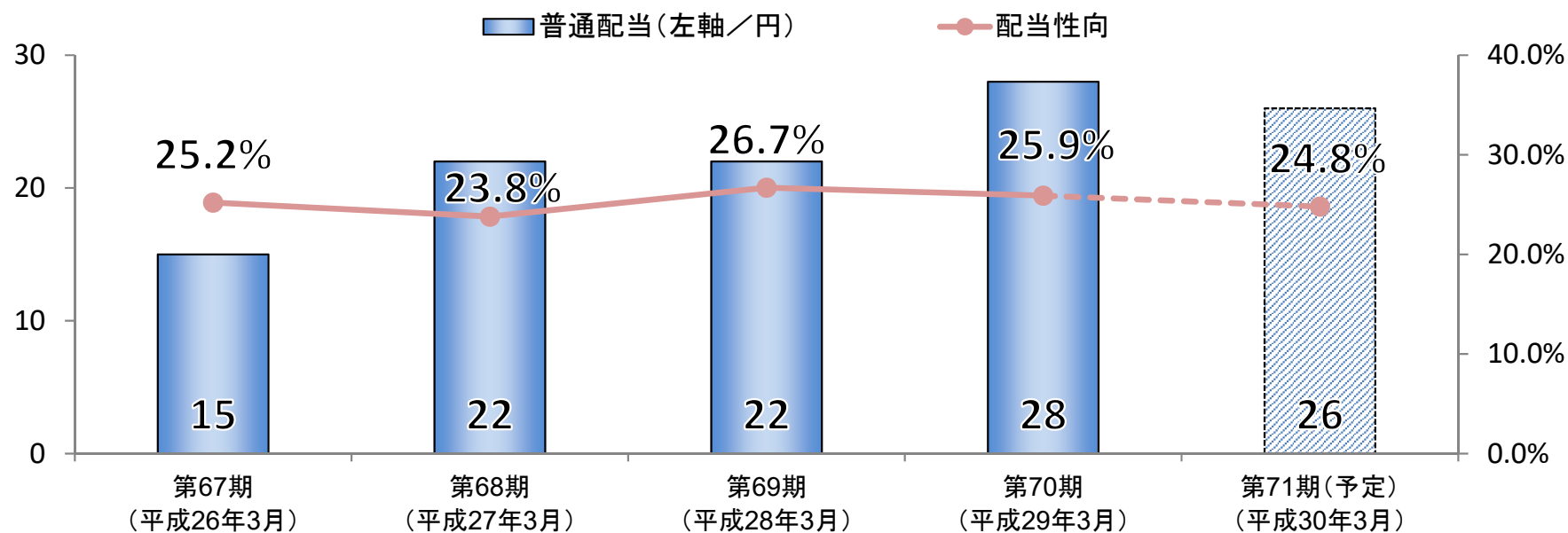


	H26/03	H27/03	H28/03	H29/03	H30/03	H31/03	H32/03
ROE (株主資本利益率)	5.4%	7.8%	6.6%	8.2%	目標: 8.0%		

## 【配当政策】

配当額：1株につき年10円を最低限維持 ・ 配当性向：30%を目標

	第67期 (平成26年3月期)	第68期 (平成27年3月期)	第69期 (平成28年3月期)	第70期 (平成29年3月期)	第71期(予定) (平成30年3月期)
普通配当	15円	22円	22円	28円	26円
配当性向	25.2%	23.8%	26.7%	25.9%	24.8%



※平成29年3月期の期末配当金は、平成29年6月開催予定の株主総会にて付議予定

# 営業施策 注力商品

## 設備稼働の遠隔監視、 解析、保全管理

- ▶ 測定センサー、映像情報、制御機器等幅広い取扱い商品群で対応
- ▶ IoTソリューションの提供
- ▶ 機器、据付、工事、ソフトまでワンストップで提供

### ◇目的

- ・省力化、省人化、生産性向上に対応するため生産現場の設備稼働状況を遠隔監視
- ・工場の設備や機器を統合的に管理
- ・ビッグデータの解析と分析を行い、予知保全と予防保全へ活用

### イメージ図

※当社オリジナル  
カタログ抜粋

あらゆるセンサーをネットワークに繋ぐこと、それが英和のミッションです。

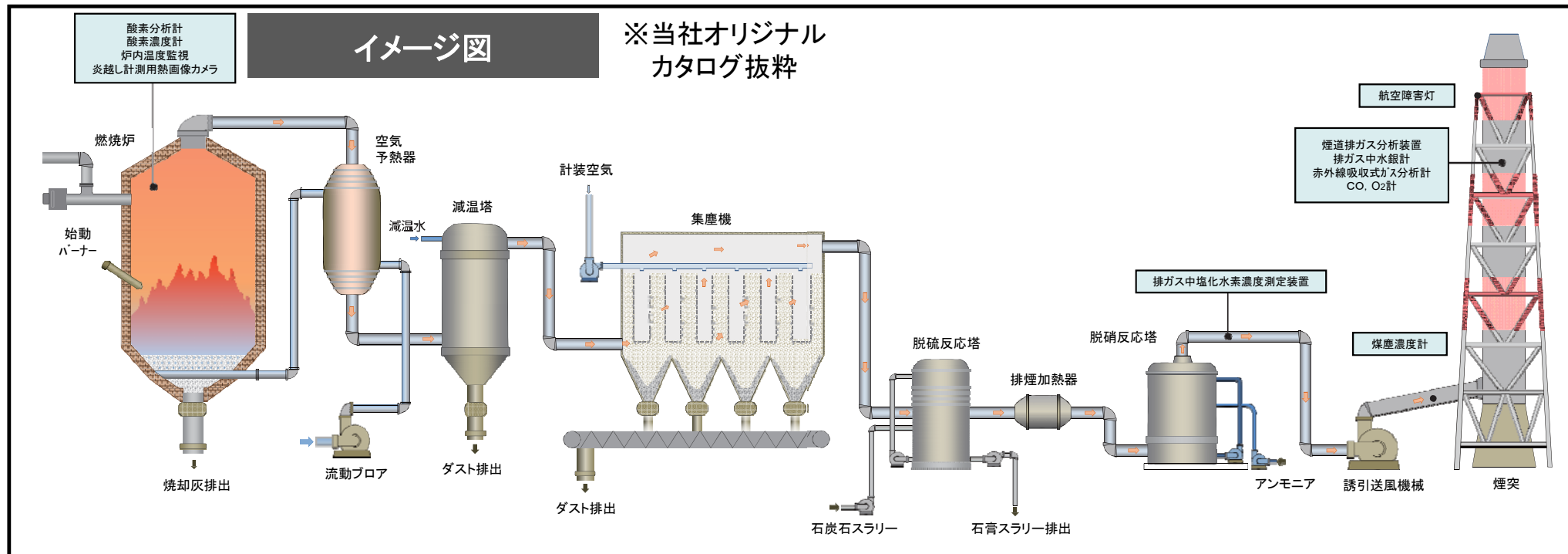


## 環境計測・分析機器 (工場排ガス・排水・メンテナンス)

- 省力化と低コストで安心・安全な水質管理に貢献
- 自動制御システムの構築も対応
- 異なる製造メーカーの製品を一括で点検・校正まで受託が可能

### ◇目的

- ・監視による排ガス・排水処理の負荷軽減、適正化
- ・大気汚染防止法への対応
- ・水質汚濁事故の未然防止
- ・法規制への対応



## オイル清浄度管理機器他、 保安メンテナンス機器

- 機械設備の維持管理、製品の品質試験・検査に貢献
- 日常点検と設備保全に貢献
- 機器の点検・修理・校正まで、ワンストップで対応

### ◇目的

- ・既存設備の維持・補修、延命
- ・既存設備の安定運転の維持・管理
- ・事故や故障の防止
- ・機器購入コストの削減
- ・作動油や潤滑油の清浄度管理

### 取扱い商品

※当社オリジナル  
カタログ抜粋



ハイスピーク・  
ハイフローフィルタ



オイル分析装置



超音波厚さ計



工業用内視鏡



## 社会インフラ 防災・復旧対策、環境対策機器

- 特殊車両で災害対策、防災対策に貢献
- 安全衛生、環境対策機器を提供
- 機器、据付、工事含めワンストップで提供

### ◇目的

- ・一般道、高速道路、工場の構内等の道路清掃
- ・冬季の路面凍結防止対策
- ・労働環境、工場、下水処理場の雰囲気改善（粉塵防止、脱臭）

### 取扱い商品

※当社オリジナル  
カタログ抜粋

路面清掃車



凍結防止散布車



粉塵防止システム



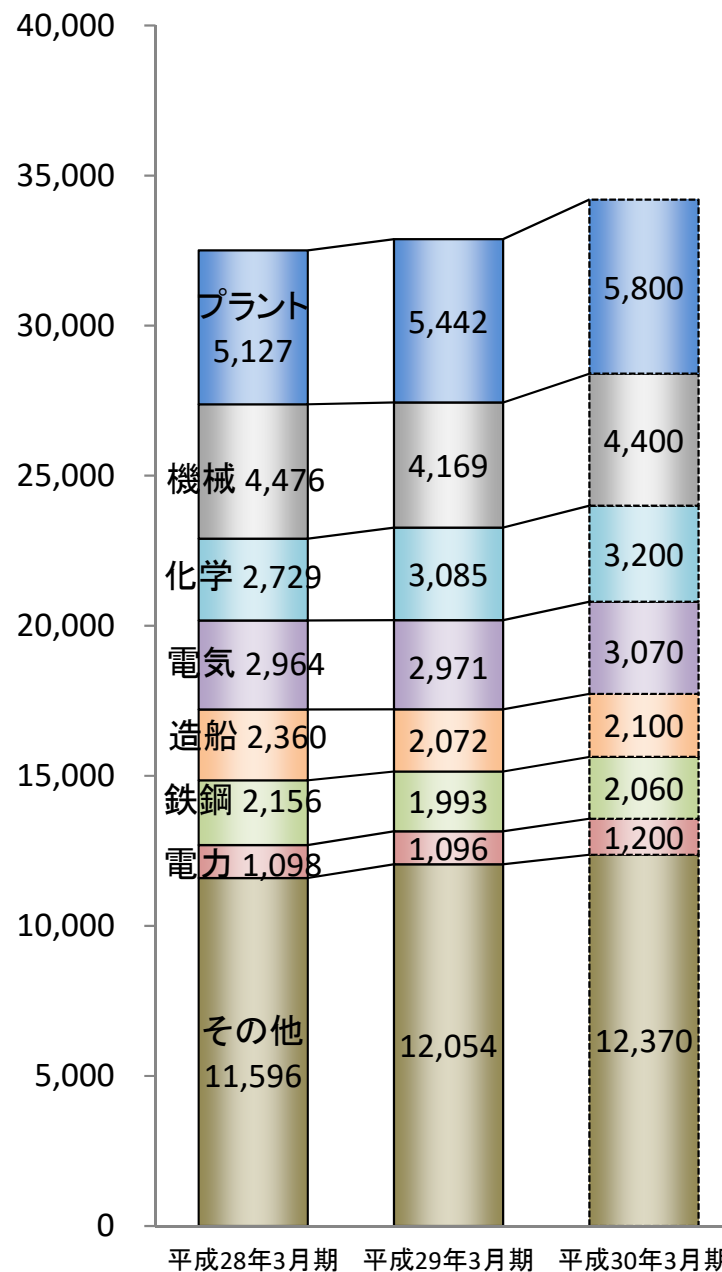
気化脱臭装置



# 参考資料

(単位:百万円)	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年 3月期	前年同期比	構成比
プラント	5,127	5,442	5,800	+ 6.5%	17.0%
機械	4,476	4,169	4,400	+ 5.5%	12.9%
化学	2,729	3,085	3,200	+ 3.7%	9.3%
電気	2,964	2,971	3,070	+ 3.3%	9.0%
造船	2,360	2,072	2,100	+ 1.3%	6.1%
鉄鋼・ 非鉄金属	2,156	1,993	2,060	+ 3.3%	6.0%
電力	1,098	1,096	1,200	+ 9.4%	3.5%
その他	11,596	12,054	12,370	+ 2.6%	36.2%
合計	32,510	32,886	34,200	+ 4.0%	100.0%

(単位:百万円)



※『機械』に属していた顧客の一部を平成29年3月期第1四半期より『造船』に変更した為、平成28年3月期の売上高も同様に変更しております。

本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL: 06-6539-4816

E-Mail: [ir-info@eiwa-net.co.jp](mailto:ir-info@eiwa-net.co.jp)

URL: <http://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。